

2020年2月5日

2020年3月期 第3四半期連結業績の概要

<2020年3月期 第3四半期累計期間業績:連結売上収益>

全世界販売台数は、前年同期比0.4%増の771千台*1となりました。

海外販売は、米国市場においてフォレスターやアセントが好調に推移したことなどにより、同1.9%増の676千台となりました。一方、国内販売は、インプレッサの減少などにより、同9.1%減の95千台となりました。

連結売上収益*2は、販売台数の増加などにより、同3.9%増の2兆4,846億円となりました。

当社は当期より、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しています。

そのため、比較対象となる2019年3月期 第3四半期累計期間連結業績および通期連結業績(日本基準)を、IFRSに従って再計算した上で、比較・分析をしています。

なお、全世界生産台数は同0.2%減の760千台となりました。

国内生産は、2019年10月に発生した台風19号の影響により操業を一時停止しましたが、フォレスターが増加したことにより、同0.4%増の493千台となりました。海外(米国SIA*3)生産については、アセントが増加しましたが、レガシおよびアウトバックがモデル切り替えの影響で減少したことなどにより、同1.3%減の268千台となりました。

<2020年3月期 第3四半期累計期間業績:連結損益>

連結損益については、前年同期に比べ、販売台数の増加に加え、販売奨励金の抑制など改善に努めたものの、為替変動などにより、営業利益は前年同期比1.9%減となる1,527億円になりました。税引前利益*4は同2.9%減の1,532億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益*5は同5.4%減の1,117億円になりました。

<2020年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、各段階利益(営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益)は、前回(2019年11月6日)発表値を据え置きます。全世界販売台数は上述の台風19号の影響による生産計画見直しなどにより、前回発表比17千台減の1,041千台(前年同期比4.0%増)に修正します。一方、連結売上収益は想定為替レートの見直し(円安方向)や販売奨励金の抑制などによる改善を見込み、前回発表比500億円増の3兆3,600億円(前年同期比6.5%増)に修正します。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥109/US\$、¥122/EUROです。

※ 前回(2019年11月6日)公表の通期連結業績見通し

全世界販売台数 1,058千台、連結売上収益 3兆3,100億円

営業利益 2,200億円(前年同期比21.1%増)、税引前利益 2,200億円(同18.3%増)

親会社の所有者に帰属する当期利益 1,630億円(同15.3%増)

想定為替レート ¥107/US\$、¥119/EURO

*1:IFRS任意適用により、日本国内のみ売上計上基準が変更。

日本基準:自動車の登録日に売上計上 IFRS:お客様への納車日に売上計上。

*2:日本基準における「売上高」を「売上収益」と表示。

*3:Subaru of Indiana Automotive, Inc.

*4:日本基準における「税引前利益」を「税引前利益」と表示。

*5:日本基準における「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益」と表示。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



< 2020年3月期 第3四半期連結決算 参考資料 >

金額：億円、台数：千台、比率：%

	前期実績 2019年3月期 第3四半期累計期間 (2018. 4. 1-2018. 12. 31)		当期実績 2020年3月期 第3四半期累計期間 (2019. 4. 1 — 2019. 12. 31)			前期実績 2019年3月期 通期 (2018. 4. 1-2019. 3. 31)		当期予想 2020年3月期 通期 (2019. 4. 1 — 2020. 3. 31)			前回当期予想 2020年3月期 通期 (2019. 4. 1-2020. 3. 31)	
	IFRS (a)	当時発表値 日本基準	IFRS (b)	増減 (b-a)	増減率	IFRS (c)	当時発表値 日本基準	IFRS (d)	増減 (d-c)	増減率	IFRS	
売上収益	23,913	23,774	24,846	932	3.9	31,562	31,605	33,600	2,039	6.5	33,100	
日本	4,509	4,358	4,242	-267	-5.9	5,941	5,966	5,605	-337	-5.7	5,975	
海外	19,405	19,417	20,604	1,199	6.2	25,620	25,639	27,995	2,375	9.3	27,125	
営業利益	1,557	1,537	1,527	-30	-1.9	1,817	1,955	2,200	383	21.1	2,200	
利益率	6.5	6.5	6.1			5.8	6.2	6.5			6.6	
税引前利益	1,578	1,570	1,532	-45	-2.9	1,860	1,958	2,200	340	18.3	2,200	
利益率	6.6	6.6	6.2			5.9	6.2	6.5			6.6	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,181	1,182	1,117	-64	-5.4	1,414	1,478	1,630	216	15.3	1,630	
利益率	4.9	5.0	4.5			4.5	4.7	4.9			4.9	
営業利益増減要因			売上構成差等	233				売上構成差等	569			
			研究開発費	186				研究開発費	172			
			為替レート差	-193				為替レート差	-231			
			諸経費等	-125				原価低減等	-123			
			原価低減等	-111				諸経費等	-74			
			その他	-20				その他	70			
為替レート	111円/US\$ 130円/EURO		109円/US\$ 121円/EURO			111円/US\$ 129円/EURO		109円/US\$ 122円/EURO			107円/US\$ 119円/EURO	
設備投資	859	852	955			1,140	1,135	1,400			1,400	
減価償却費	675	674	707			891	888	1,000			1,000	
研究開発支出 ^{*1}	780	780 ^{*2}	849			1,027	1,027 ^{*2}	1,170			1,200	
有利子負債残高	554	520	1,752			1,037	1,004	2,400			2,400	
業績評価			・2期振りの増収 ・4期連続の各利益減益 ・2期振りの連結販売台数増					・2期振りの増収 ・4期振りの各利益増益 ・2期振りの連結販売台数増				
日本販売台数合計 ^{*3}	104	98	95	-10	-9.1	136	135	128	-8	-6.0	138	
登録車	85	80	76	-9	-10.2	110	110	104	-6	-5.4	111	
軽自動車	19	19	18	-1	-4.7	26	26	24	-2	-8.7	27	
海外販売台数合計	664		676	13	1.9	865		913	49	5.6	920	
北米	543		565	22	4.0	717		762	45	6.3	763	
欧州	32		32	-0	-0.4	40		46	6	14.5	47	
中国	17		18	1	5.4	23		24	2	7.4	25	
その他	71		61	-10	-14.1	85		81	-4	-4.9	85	
連結販売台数総計	768	762	771	3	0.4	1,001	1,000	1,041	41	4.0	1,058	
生産台数合計	762		760	-2	-0.2	989		1,049	60	6.0	1,057	
日本	491		493	2	0.4	617		667	50	8.1	668	
米国	271		268	-4	-1.3	372		382	10	2.6	390	
売上収益 事業別	自動車	22,840	22,719	23,738	898	3.9	30,076	30,145				
	航空宇宙	962	943	1,042	80	8.3	1,341	1,317				
	その他	111	111	66	-45	-40.5	144	144				
営業利益 事業別	自動車	1,464	1,454	1,433	-31	-2.1	1,721	1,849				
	航空宇宙	53	49	63	10	19.0	60	60				
	その他	37	29	29	-8	-21.1	33	38				
	消去・全社	3	5	1	-2	-64.5	3	7				

注1. 当期より、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しています。そのため、比較対象となる前期（2019年3月期）実績（日本基準）を、IFRSに従って再計算した上で、比較・分析をしています。

- *1. 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額。IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なる。
- *2. 当時発表（日本基準）では、「研究開発費」として表示。
- *3. 日本国内のみ売上計上基準が変更。日本基準：自動車の登録日に売上計上 IFRS：お客様への納車日に売上計上。

注2. 連結販売台数は、国内連結対象販売の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対するSUBARUの出荷などの合計値。

注3. 日本生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。